

(様式 7)

(排出事業者用)

令和 8 年 4 月 14 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和6年度から7年度		
会 社 名	藤森土木建設株式会社		
住 所	〒392-0021 長野県 諏訪市 上川2-2190-1		
代 表 者 名	藤森 勇希		
業 種	製造業 ・ 建設業		
処 理 施 設 所 在 地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地	
担 当 部 署	土木部		
担 当 者 名	長谷川 哲也		
連 絡 先	T E L	0266-52-1766	
	F A X	0266-53-4846	
	電子メールアドレス	t-hasegawa@fujicon.biz	
ホームページアドレス	http://www.fujimori-construction.co.jp/		

1 総排出量、リサイクル量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	R7 年度目標値	R7 年度実績値	R6 年度実績値	R5 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m ³)	4000.0t	950.86t	3459.50t	2698.55t
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	4000.0t	950.86t	3450.02t	2698.55t
売上高の推移 (円)	160,000 万円	160,000 万円	160,000 万円	173,900 万円

2 排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

現場使用材料については、再生材使用率の高い製品を優先的に選定使用した。

社内の廃棄物処理状況を把握し、情報共有によりリサイクル意識の向上に努めるよう朝礼等で報告した。

現場発生コンクリート殻 アスファルト殻に関しては、100%再利用の中間処理業者に委託した。現場開始前に分別の徹底とリサイクル率の向上に努める様、施工検討会議にて指導をした。外部講習への参加による知識 情報は社内で報告し共有を図った。

社内パトロール時に各現場に応じた分別減量指導を行った。

各現場からの発生品処理に関しては、現場毎各1回 現場所長が処理施設に処理状況を確認し写真撮影を行うよう指導した。産業廃棄物 3R 実践講習会への参加 参加者による社内報告の実施。諏訪湖アダプトプログラムへの社員全員最低1回以上参加できるよう、年3回行った。

計画段階では、二次製品の推進を行い現場での型枠作業による木材の廃材を抑制する。現場での使用材料の余剰は、廃棄物の発生を伴うので、過剰な注文を避けて施工を行うよう指導した。

施工開始前に、手持ちの資材を確認し使用時期を考慮し材料の発注計画を立てるよう指導した。

金属類のリサイクルをしやすいように 本社に金属箱を設置し現場からの帰社時に入れられるように常設にした。

本社設置の飲料自動販売機前に、スチール缶、アルミ缶、ペットボトル毎の捨て場を設置した。

※必要に応じ写真等を添付してください。

3 リサイクル製品使用率（%）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（%）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	R7年度 目標値	R7年度 実績値	R6年度 実績値	R5年度 実績値
コンクリート二次製品	25%	10%	0%	0%
アスファルト	90%	90%	90%	85%
砕石	90%	90%	90%	90%
コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材	10%	30%	30%	0%
全 体	50.0%	48.40%	48.40%	45.10%